

2016年3月23日  
日興アセットマネジメント株式会社



## グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)

### 世界的な低金利環境を背景に 注目を集めるCoCo債

本資料では、当ファンドの主な投資対象である「CoCo債」の魅力をあらためてお伝えするとともに、当ファンドの主な投資対象である外国投資信託の運用会社であるパインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー(以下、パインブリッジ社)からのコメントをQ&A形式でご紹介いたします。



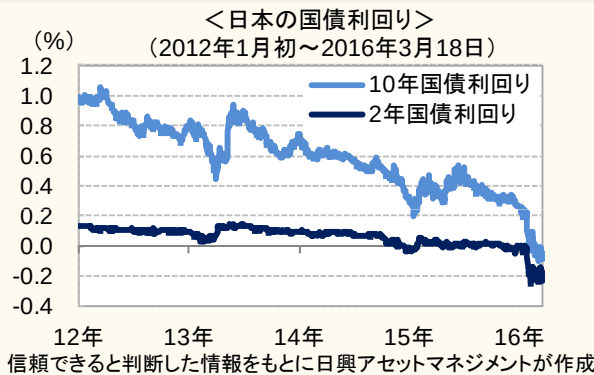
#### CoCo債を資産運用の選択肢に

★★★  
GLOBAL HYBRID

#### 足元の投資環境

##### 日欧で追加緩和が決定されるなど 世界的な低金利環境が継続

##### 中国の景気減速懸念や原油価格の動向など 世界経済の先行き不透明感が継続



##### ＜不透明要因の例＞

中国における  
景気減速懸念

原油価格の  
動向

中東における  
地政学的リスク

など

より利回り水準の  
高い資産に注目

投資先の信用問題  
にも配慮

#### CoCo債投資の魅力

魅力  
1

相対的に高い  
利回り水準

魅力  
2

世界を代表する  
金融機関が発行体

**CoCo債を主要投資対象とする当ファンドを、  
資産運用ツールの一つとしてご活用いただければ幸いです。**

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## そもそもCoCo債とは？

★★★  
GLOBAL HYBRID

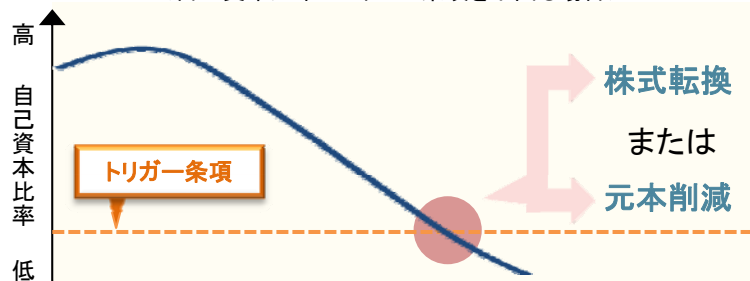
- CoCo債 (Contingent Convertible Bonds: 偶発転換社債) とはハイブリッド証券の一種で、発行体の自己資本比率があらかじめ定められた水準(トリガー条項)を下回った場合などに株式転換や元本削減となる債券です。
- CoCo債は①相対的に高い利回り水準、②世界を代表する金融機関が発行体、といった2つの特徴を有しており、魅力的な投資対象であると考えられます。

### <CoCo債とは>

発行体が破たんしていなくても、自己資本比率が一定の水準(トリガー条項)を下回った場合などにおいて、強制的に株式に転換される、または元本の一部もしくは全部が削減される仕組みを有する証券。

### CoCo債の仕組みのイメージ

<自己資本比率がトリガー条項を下回る場合>



※上記はCoCo債の仕組みのイメージ図であり、実際と異なる場合があります。

※トリガー条項の自己資本比率は、一般に発行体の実質的に破たんしたと考えられる水準、もしくは財務健全性が保たれないと考えられる水準に定められます。

※上記の他に、発行体の実質的な破たん状態にあると金融当局が判断した場合も、株式転換や元本削減が起こります。



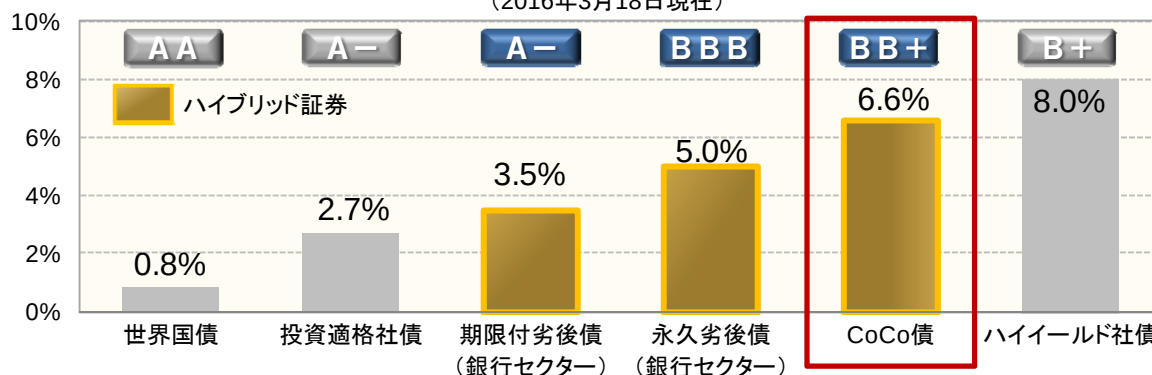
## CoCo債投資の魅力① 相対的に高い利回り水準

★★★  
GLOBAL HYBRID

- CoCo債は、発行体の自己資本比率がトリガー条項を下回ると株式転換や元本削減となる固有のリスクがあるため、相対的に利回りが高く、国債や投資適格社債と比較して高水準の金利収入が期待されます。

### 相対的に高い水準にあるCoCo債の利回り

<各種債券の利回り>  
(2016年3月18日現在)



※上記格付は、いずれも、公表されているものを日興アセットマネジメントがS&Pの格付表記に置き換えて掲載しています。なお、パークレイズの指数の格付は、パークレイズが公表している指数の平均格付のうち高い方を掲載しています。

【世界国債】パークレイズ・世界国債インデックス【投資適格社債】パークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス【期限付劣後債 (銀行セクター)】パークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター (Lower Tier2) インデックス【永久劣後債 (銀行セクター)】パークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター (Upper Tier2) インデックス【CoCo債】BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス【ハイイールド社債】BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・インデックス

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



CoCo債投資の魅力②

世界を代表する金融機関が発行体

★★★  
GLOBAL HYBRID

- CoCo債の発行体は、グローバルな金融システムの安定に欠かせない、重要な金融機関と認定されているG-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions、ジーシフーズ)の銀行が中心となっています。
- G-SIFIsは、新たな自己資本規制であるバーゼルⅢにおいて資本の積み増しを求められており、今後、これらへの対応から財務健全性が向上することが期待されます。

G-SIFIsに含まれる銀行の顔ぶれ (2015年11月公表)

欧州

|                              |
|------------------------------|
| HSBCホールディングス(英国)             |
| パークレイズ(英国)                   |
| スタンダードチャータード(英国)             |
| ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループ(英国) |
| BNPパリバ(フランス)                 |
| BPCEグループ(フランス)               |
| クレディ・アグリコル・グループ(フランス)        |
| ソシエテ・ジェネラル(フランス)             |

|                    |
|--------------------|
| クレディ・スイス・グループ(スイス) |
| UBS(スイス)           |
| ドイツ銀行(ドイツ)         |
| サンタンデール銀行(スペイン)    |
| ユニクレディ(イタリア)       |
| ING銀行(オランダ)        |
| ノルデア・バンク(スウェーデン)   |

日本

|                   |
|-------------------|
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ |
| みずほフィナンシャルグループ    |
| 三井住友フィナンシャルグループ   |

中国

|        |
|--------|
| 中国農業銀行 |
| 中国銀行   |
| 中国建設銀行 |
| 中国工商銀行 |

米国

|                   |
|-------------------|
| JPモルガン・チェース       |
| シティグループ           |
| バンク・オブ・アメリカ       |
| ゴールドマン・サックス       |
| モルガン・スタンレー        |
| バンク・オブ・ニューヨーク・メロン |
| ステート・ストリート        |
| ウェルス・ファーゴ         |

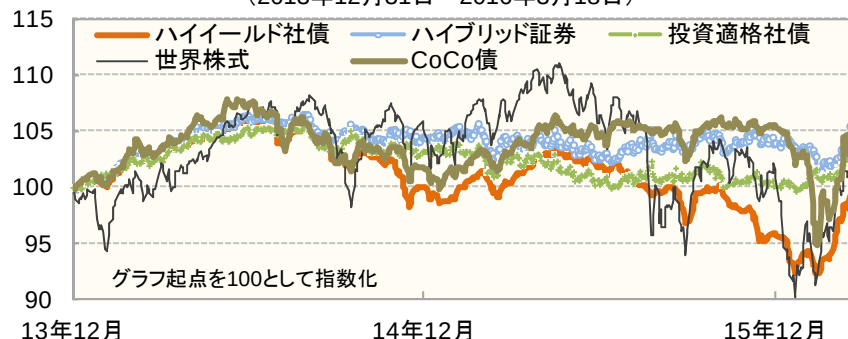
FSB(金融安定理事会)の資料をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、G-SIFIsに選定されている銀行をお伝えする意図で掲載したものであり、当該銘柄の組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。

## 足元のCoCo債の値動きについて

CoCo債は今年2月に入って、ドイツの大手銀行の業績不振などを背景に、CoCo債の利払い停止懸念が高まり、大きく売られる展開となりました。これを受け、利払い能力に問題はないことを示して金融不安を鎮めることを目的とし、2月12日にドイツの大手銀行は自らが発行した債券を6,000億円規模で買戻すことを発表しました。これに加え、原油価格が上昇傾向となるなどリスク回避姿勢が後退し、CoCo債市場が落ち着きを取り戻しつつあるなか、ECB(欧州中央銀行)による追加緩和策が発表されたことなどが追い風となり、足元で大幅に反発しています。

主な指数(米ドルベース)の推移  
(2013年12月31日～2016年3月18日)



【CoCo債】BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス【ハイイールド社債】BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・インデックス【ハイブリッド証券】パークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター・インデックス【投資適格社債】パークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス【世界株式】MSCI AC ワールド指数(トータルリターン)

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。





## パインブリッジ社からのコメントのご紹介①

★★★  
GLOBAL HYBRID

### Q1 なぜ今CoCo債なのですか？

**世界的な低金利環境においてCoCo債の相対的に高い利回り水準が選好されると考えられるからです。**

- ✓1月末に日銀がマイナス金利の導入を決定したことに加え、3月10日にECBが追加緩和を発表したことを受けて、足元の世界的な低金利環境は今後も続くと考えられ、CoCo債の相対的に高い利回り水準は選好されるものと考えられます。
- ✓CoCo債と同様に利回り水準が高い債券にはハイイールド社債があります。しかし、ハイイールド社債は、発行体の信用力が相対的に低めであることに加え、商品市場の低迷などを背景に、エネルギー・素材セクターを中心にデフォルト率が高まっていることから、慎重なスタンスが必要と考えています。
- ✓一方、CoCo債は、世界を代表する金融機関が発行体の中心と信用力が高く、さらに当ファンドが投資対象とする銀行のファンダメンタルズは概ね健全であることから、魅力的な投資対象であると考えています。

### Q2 ECBの追加緩和の影響について教えてください。

**利下げは銀行の収益圧迫要因となるものの、総合的にはCoCo債のプラス要因になると考えられます。**

- ✓ECBは、3月10日に開催された理事会において、政策金利の引き下げや、資産買入れプログラムの拡張、TLTRO II(新たな貸出条件付き長期資金供給オペ)の実施など、市場予想を大きく上回る包括的な追加緩和策を決定しました。
- ✓政策金利の引き下げは、銀行の収益圧迫要因となるものの、今回の利下げはCoCo債の価格にすでに織り込まれていたと考えられます。また、ECBのドラギ総裁が「一段の利下げは想定していない」と発言したことを受けて、今後の引き下げ余地がなくなることから、収益に対する不透明感は払しょくされた形となりました。
- ✓資産買入プログラムの対象に、非金融機関の投資適格社債が追加されたことは、銀行の取引先企業の資金繰り安定化につながると考えられ、間接的に銀行の経営を後押しするものと考えられます。
- ✓さらに、TLTRO IIが実施され、銀行に資金が供給されることも勘案すると、今回の追加緩和策は、CoCo債のプラス要因になると考えています。

#### 3月10日の理事会での主な決定内容

|              |                                                                    |
|--------------|--------------------------------------------------------------------|
| 政策金利の引き下げ    | 中銀預金金利を▲0.30%から▲0.40%へ引き下げ                                         |
|              | 限界貸付金利を0.30%から0.25%へ引き下げ                                           |
|              | 主要オペ金利を0.05%から0.00%へ引き下げ                                           |
| 資産買入プログラムの拡張 | 月間の資産購入を2016年4月以降600億ユーロから800億ユーロに増額<br>資産購入対象を非金融機関の発行する投資適格社債に拡大 |
| TLTRO IIの実施  | 期間4年の長期資金供給オペの導入                                                   |

ECBの発表をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、パインブリッジ社より提供された情報をもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## パインブリッジ社からのコメントのご紹介②

★★★  
GLOBAL HYBRID

### Q3 今後の見通しについて教えてください。

**CoCo債の価格は相対的に高い利回り水準が選好されて、  
堅調に推移することが期待されます。**

- ✓ 2015年に、多くの大手銀行が減配に加え、増資などの資本政策を発表し、株主の利益を損なってでも十分な資本を積む意志を示しました。これは、自己資本比率の水準がトリガー条件となっているCoCo債にとってはポジティブと考えられます。
- ✓ 一部の銀行では、エネルギー関連企業に対するエクスポージャーが多いものの、多くの銀行でローン残高全体の3%以下にとどまっており、原油安に伴う収益の悪化は限定的と見込まれます。
- ✓ パインブリッジでは、当ファンドで投資対象とするCoCo債の発行体である銀行は、低金利環境の継続や、ある程度の景気後退に十分に耐えられる強固な財務基盤をもっているとみており、2月に下落を引き起こしたようなリスクセンチメントの悪化は行き過ぎであると考えています。CoCo債の価格は、市場が落ち着きを取り戻しつつある中、相対的に高い利回り水準が選好され、中長期的に堅調に推移することが期待されます。

※上記は、パインブリッジ社より提供された情報をもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用実績

★★★  
GLOBAL HYBRID

為替ヘッジなし

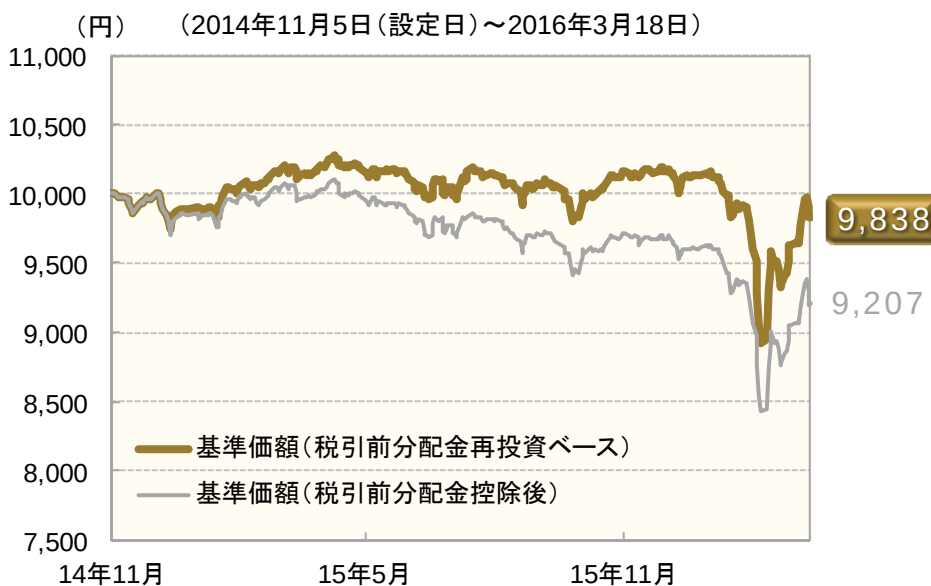


2014年12月～  
2016年3月  
の分配金額

40円/月

設定来合計  
640円

為替ヘッジあり



2014年12月～  
2016年3月  
の分配金額

40円/月

設定来合計  
640円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。  
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。  
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



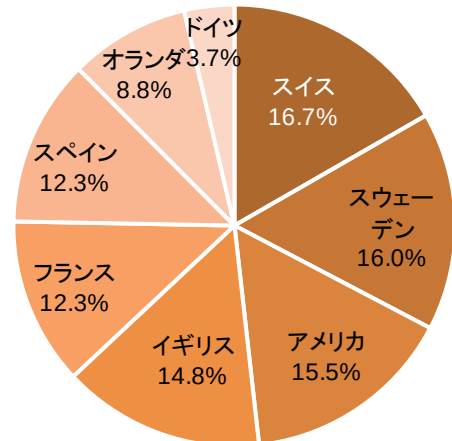
## ポートフォリオの状況（2016年2月末現在）

★★★  
GLOBAL HYBRID

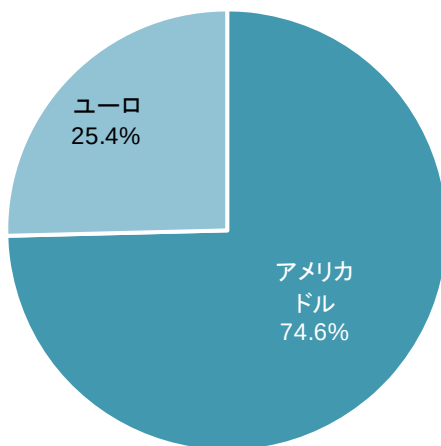
### ポートフォリオの特性

|         |       |
|---------|-------|
| 平均最終利回り | 7.51% |
| デュレーション | 5.5年  |
| CoCo債比率 | 84.5% |
| 平均格付    | BB+   |

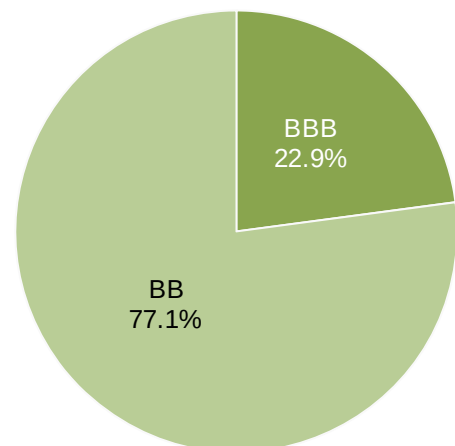
### 国別構成比率



### 通貨別構成比率



### 格付別構成比率



※パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーより提供された情報です。

※上記の各数値は当ファンドの主な投資対象である「グローバル・ファイナンシャルズ・ファンド」の状況であり、組入証券時価総額比です。各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※平均最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）/（為替ヘッジあり）」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

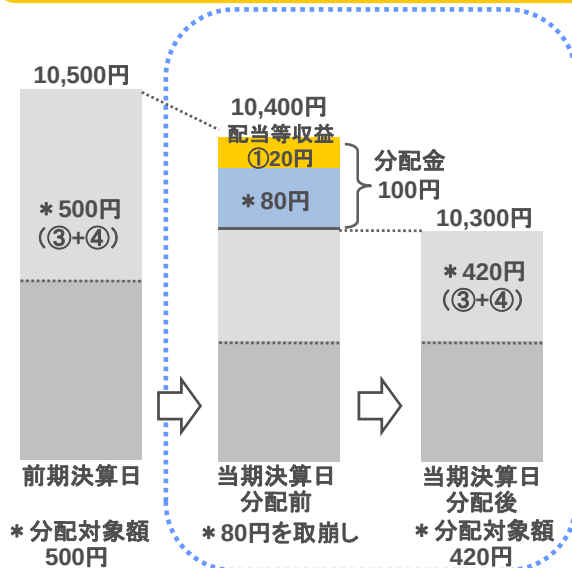
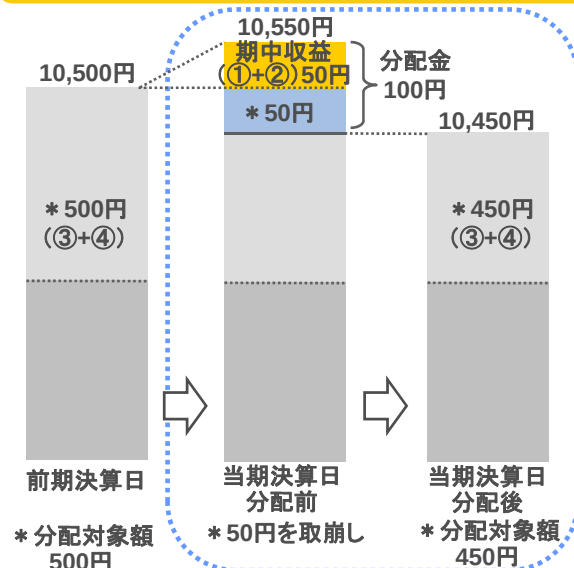


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合

#### 前期決算から基準価額が下落した場合



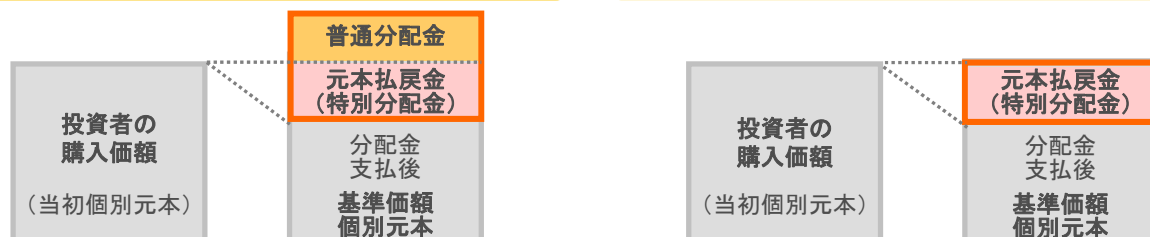
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。



## ファンドの特色

- ① 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。
- ② 「為替ヘッジなし」と「為替ヘッジあり」の2つのコースがあります。
- ③ 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主にハイブリッド証券を実質的な投資対象としますので、ハイブリッド証券の価格の下落や、ハイブリッド証券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】  
【ハイブリッド証券への投資に伴うリスク】【業種の集中に関するリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お 申 込 め も

|            |                                                                                                                              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類       | 追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）                                                                                                     |
| ご購入単位      | 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。                                                                                      |
| ご購入価額      | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額                                                                                                            |
| ご購入不可日     | 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。<br>詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託期間       | 2024年8月19日まで（2014年11月5日設定）                                                                                                   |
| 決算日        | 毎月17日（休業日の場合は翌営業日）                                                                                                           |
| ご換金不可日     | 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。<br>詳しくは、販売会社にお問い合わせください。    |
| ご換金代金のお支払い | 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。                                                                                           |

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

|         |                                                                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料  | 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%(税抜3.0%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。<br>※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料   | ありません。                                                                                                                              |
| 信託財産留保額 | ありません。                                                                                                                              |

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 信託報酬  | 純資産総額に対して <u>年率1.724%(税抜1.64%)</u> 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。<br>受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。                                                                                                        |
| その他費用 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。<br>組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。<br>※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# 委託会社、その他関係法人

|      |                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号<br>加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、<br>日本証券業協会                                   |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社<br>(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)                                                                                  |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。<br>日興アセットマネジメント株式会社<br>[ホームページ]http://www.nikkoam.com/<br>[コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)/(為替ヘッジあり)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 |          | 登録番号            | 加入協会    |                 |                 |                    |
|--------------|----------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
|              |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 今村証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長(金商)第3号   | ○       |                 |                 |                    |
| 株式会社SBI証券    | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                 | ○               | ○                  |
| 高木証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号  | ○       |                 |                 |                    |
| マネックス証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○       | ○               | ○               |                    |
| 丸八証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第20号  | ○       |                 |                 |                    |
| 楽天証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○       |                 | ○               | ○                  |

(50音順、当資料作成日現在)